

JQA ファイリング番号 KLO5160140

試験報告書

依頼者名 株式会社 大丸鋳螺製作所
住 所 大阪府大阪市東成区深江南 3 丁目 1 番 12 号

試験品名 シールビス、シールボルト、シールキャップボルト、
オーバルシールビス、シール座金

型 名 _____
定 格 _____
製造番号 _____
製造者名 _____

試験内容 添付の試験詳細のとおり

試験場所 一般財団法人 日本品質保証機構 北関西試験センター
大阪府箕面市石丸1丁目7番7号

試験結果 添付の試験詳細のとおり

試験年月日 2017 年 1 月 25 日 ~ 2017 年 1 月 26 日

発行日: 2017 年 2 月 13 日

一般財団法人 日本品質保証機構

北関西試験センター

安全試験課 蟹井 良之

蟹井 良之

〒562-0027 大阪府箕面市石丸1丁目7番7号

-
- ・試験に適用した規格、試験条件及び試験方法等は、依頼者の申込みに基づいたものです。
 - ・この試験報告書は、試験用に提供された試験品に対して試験を実施した結果を記述したものであり、同一型名の他の販売用製品等に適用されるものではありません。
 - ・この報告書の内容の、消費者向けの宣伝等を目的とする利用、転載、一部分の複製を行うときは、事前に当機構の承認が必要です。なお、内容の一部分の複製を行うときは、書面による承認が必要です。

JAPAN QUALITY ASSURANCE ORGANIZATION

1. 試験品名

シールビス、シールボルト、シールキャップボルト、オーバルシールビス、シール座金（写真 1）

2. 試験項目

JIS C 0920:2003 IP6X, IPX5, IPX8

3. 試験方法及び条件

本試験は、「JIS C 0920:2003 電気機械器具の外郭による保護等級(IP コード)」に従って実施した。

保護等級: IP6X, IPX5, IPX8

1) 危険な箇所への接近に対する保護試験(第一特性数字:6)

接近度検査用プローブ(JIS C 0920:2003 表 6 IP6X)を試験品の外郭の開口部に挿入する。

詳細条件は下記の通りとする。

項目	条件
接近度検査用プローブ	針金
直径	1.0 mm
長さ	100 mm
押圧力	1 N±0.1 N

2) 外来固形物に対する保護試験(第一特性数字:6)

塵埃試験装置(JIS C 0920:2003 付図 2)を使用し試験を実施する(写真 2)。

詳細条件は下記の通りとする。

項目	条件
カテゴリー	1
試験品内部の減圧	最大 2kPa
使用タルク粉 (JIS 試験用粉体 4 種 タルク粉)	太さφ50 μm の針金を公称間隔 75 μm で直角に交互に配置した方形網目のふるいを通過するもの
使用タルク粉の量	試験室容積 1 m ³ 当たり 2 kg
試験時間	8 時間

—— 続 く ——

3) 水の浸入に対する保護試験(第二特性数字:5)

試験品(外郭)に対して実際に水のかかるおそれがある全ての方向から、
放水ノズル(JIS C 0920:2003 付図 6 IPX5)を使用して放水する。
詳細条件は下記の通りとする。

項 目	条 件
放水ノズルの内径	6.3 mm
放水率	毎分 12.5 L±0.625 L
流入側の水圧	放水率で設定
水流の大きさ	ノズル先端から 2.5 m の位置で 直径約 40 mm の大きさ
試験時間	3 min (1 min/m ² 最低 3 min)
ノズルから試験品(外郭)表面までの距離	2.5~3 m

4) 水の浸入に対する保護試験(第二特性数字:8)

特性数字 7 の試験条件より厳しいものとし、かつ、外郭が継続的潜水状態で使用されることを
必ず考慮しなければならない。

IPX8 試験の依頼条件は下記の通りである。

項 目	依 頼 条 件
供試品の最下端から水面までの距離	1.6 m
試験時間	30 分

備 考: 以下の試験条件及び試験方法の詳細は、依頼者との打合せ及び要望によるものである。

- ・試験姿勢は通常使用状態になるように設置した。
- ・試験後、内部へのじんあい及び水の浸入の有無を確認した。

—— 続 く ——

4. 試験結果

1) 危険な箇所への接近に対する保護試験(第一特性数字:6)

試験品内部にプローブの侵入はなかった。

2) 外来固形物に対する保護試験(第一特性数字:6)

試験品内部にじんあいの侵入はなかった。

(写真 2 - 4 参照。)

3) 水の浸入に対する保護試験(第二特性数字:5)

試験品内部に水の浸入はなかった。

(写真 5 - 7 参照。)

4) 水の浸入に対する保護試験(第二特性数字:8)

試験品内部に水の浸入はなかった。

(写真 8 - 10 参照。)

—— 続 く ——

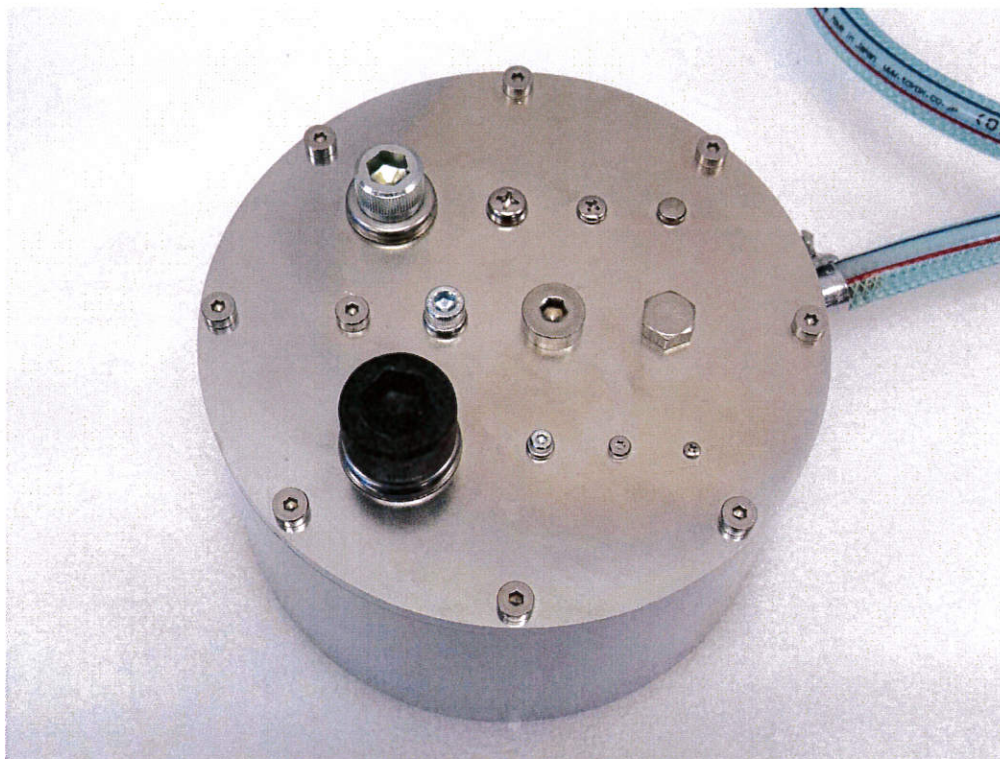


写真 1 試験品



写真 2 IP6X 試験の様子

—— 続 く ——

JAPAN QUALITY ASSURANCE ORGANIZATION

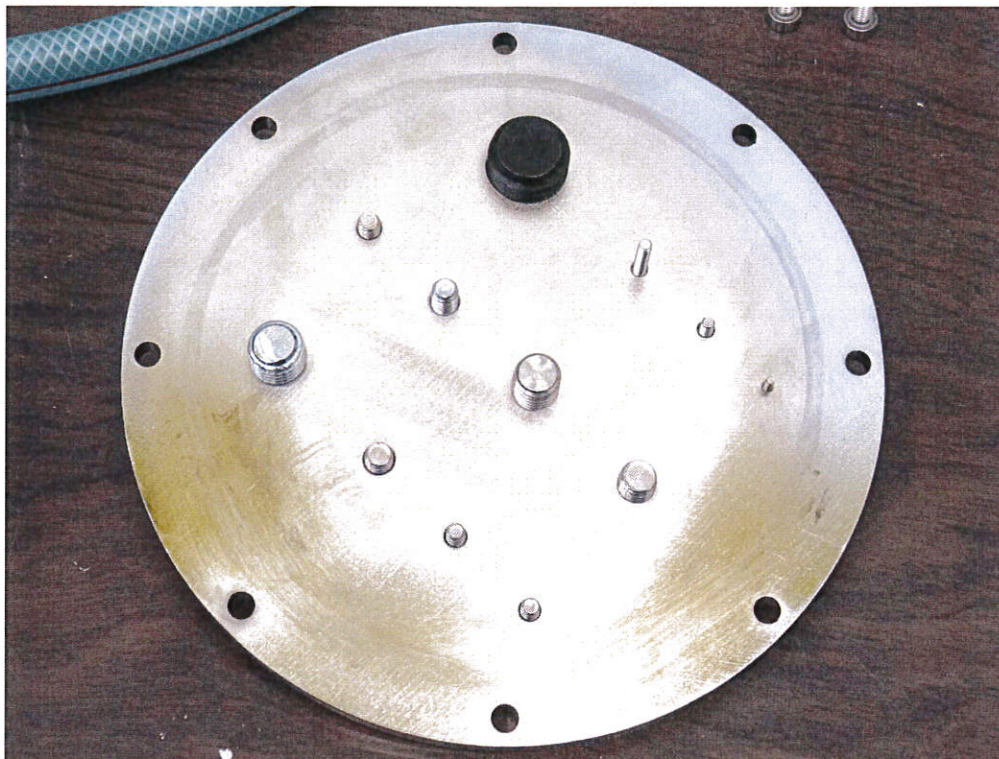


写真 3 IP6X 試験後の内部確認の様子 -1

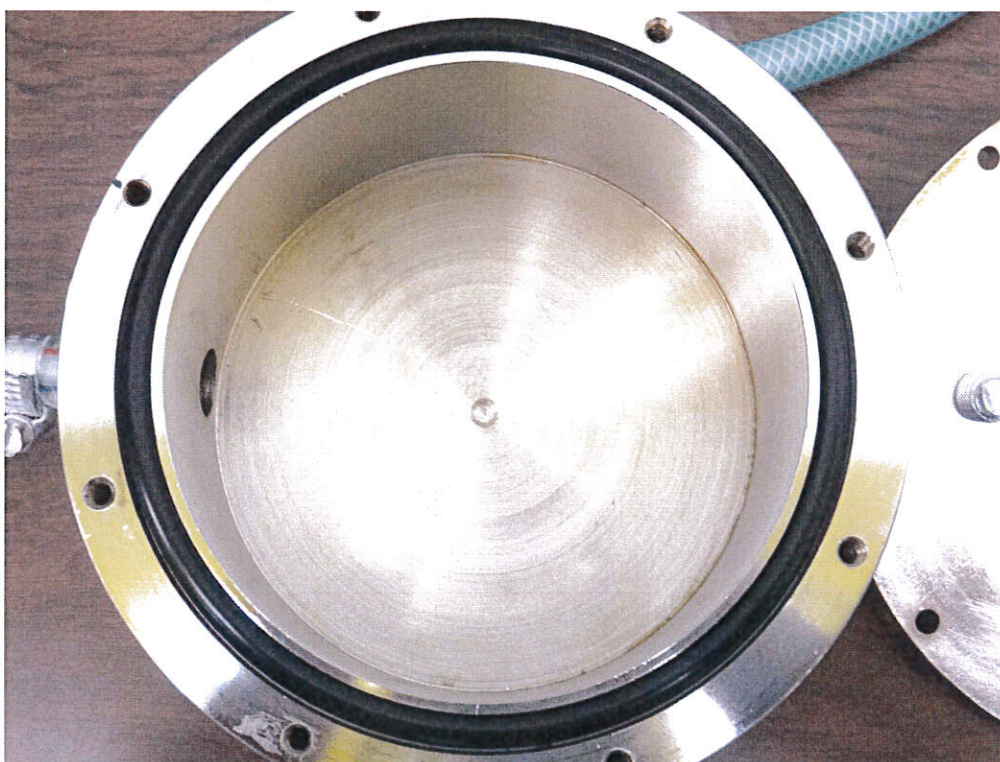


写真 4 IP6X 試験後の内部確認の様子 -2

—— 続 く ——

JAPAN QUALITY ASSURANCE ORGANIZATION



写真 5 IPX5 試験の様子

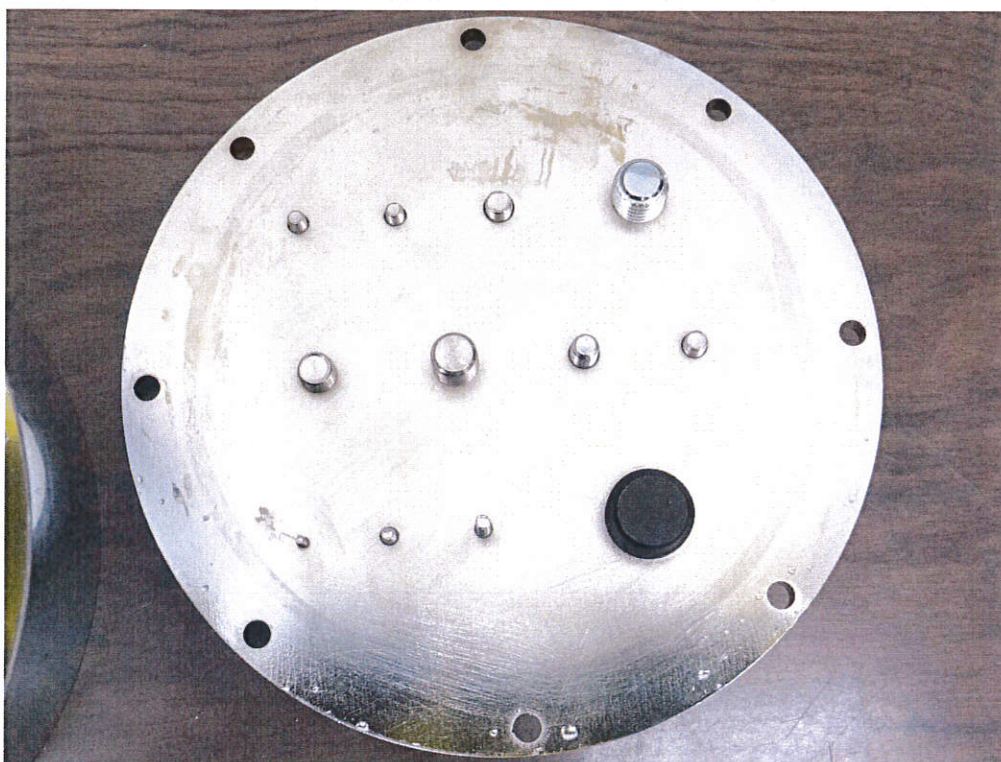


写真 6 IPX5 試験後の内部確認の様子 ー1

—— 続 く ——

JAPAN QUALITY ASSURANCE ORGANIZATION



写真 7 IPX5 試験後の内部確認の様子 -2

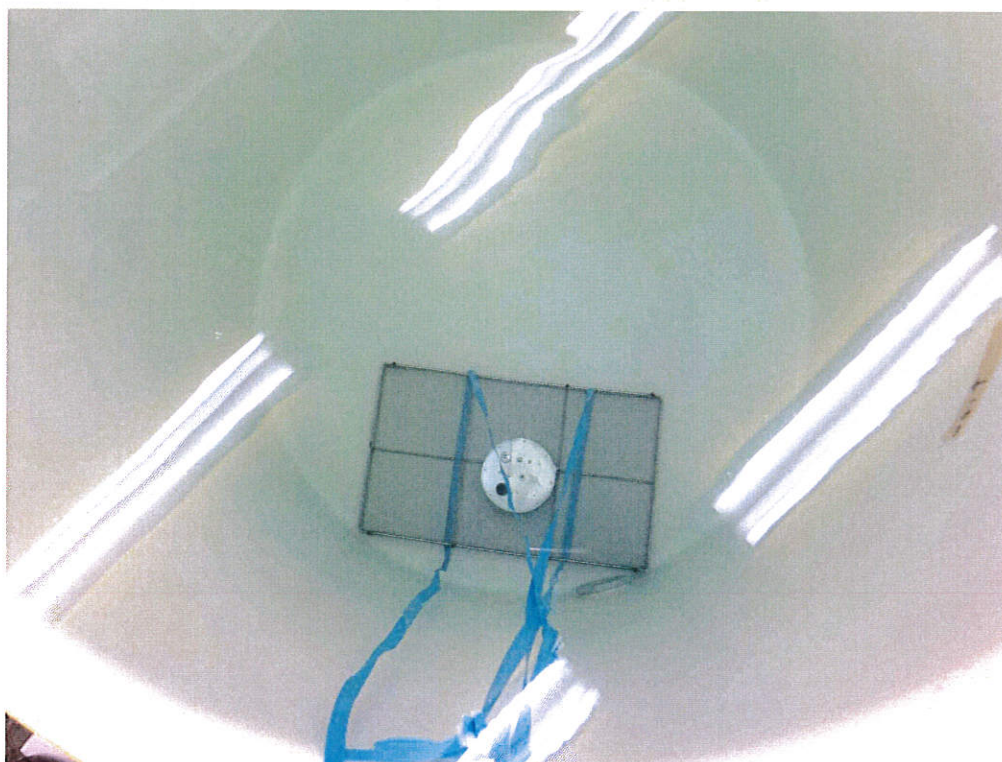


写真 8 IPX8 試験(1.6m 30 分間の浸水)の様子

—— 続 く ——

JAPAN QUALITY ASSURANCE ORGANIZATION

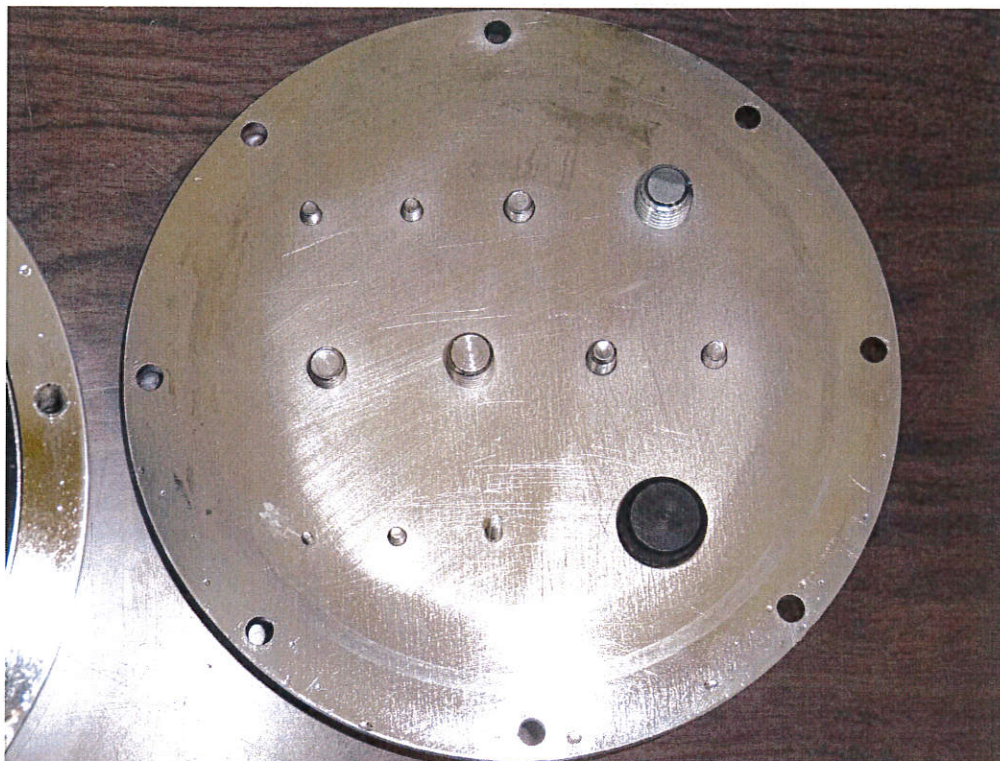


写真 9 IPX8 試験後の内部確認の様子 -1

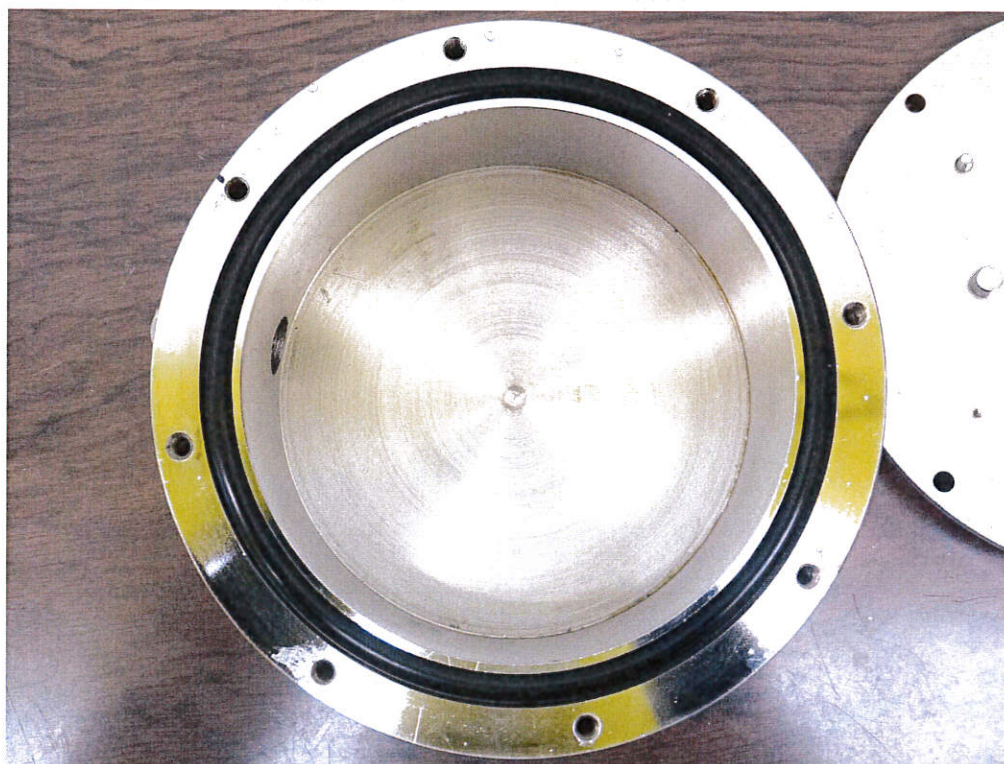


写真 10 IPX8 試験後の内部確認の様子 -2

—— 以 上 ——